平成29年度夏期講習会アンケート結果(3科目)

【平成29年度一人一人が輝く活力ある学校づくり推進事業】進路学習指導部

[事業内容]

大学受験に対応できる学力の定着を目指し、予備校教師による授業講座を、長期休業中に実施

[担当講師]

英語 千頭和純一先生

数学 松田哲士先生

現代文 高木一哉先生

	3 (良く分かった)	2 (分かった)	1 (あまり分からなかった)
英語	57人 (47%)	61人 (51%)	2人(2%)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 5文型が理解できた。 ・ 復習をしっかりしなければならないこと。 ・ 前置詞の部分がわかりにくかった。 ・ 中学英語から勉強していくことの大切さがわかった。 ・ 毎日短い時間でも英語の勉強はしなければならないと思った。 ・ 品詞についてよくわかった。 ・ 英語を勉強していく上で、考え方を教えてもらえたので広く使えると思った。 ・ これから英語を勉強していく上で、品詞の理解がためになった。 			
数学	67人 (57%)	49人 (41%)	2人(2%)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 新しい解き方を知ることが出来た。 ・ 最大・最小の求め方のコツが分かった。 ・ ノートのとり方のコツがわかった。 ・ 粘り強く計算する力がついた。 ・ 小さなことでもメモをとったり、普段の先生の言葉が大事だとわかった。 ・ 勉強の仕方を教えてくれたことがためになった。 ・ グラフを書くことが大切だとわかった。 ・ 場合分けの部分が自分のためになった。 			
現代文	44人 (50%)	41人 (46%)	4人 (4%)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 問題の見方(逆接など)がわかった。 ・ 逆接が大切なことがわかった。 ・ 評論文の読み方で、読む時は逆接などに注意し筆者の主張をつかむことというのがとてもためになった。 ・ 文の中で大切な部分を見つけることの大切さがわかった。 			

- 筆者の主張のを見つけ方がわかった。
- 答えだけでなくなぜその答えになったのか理由も考えなければならぬとわかった。
- しっかり主旨を考えようと思った。
- 文の読み方をもう一度改めようと思った。